

まほろば 第101号



元気で楽しい正月を

年の瀬も押し迫った12月27日(水)、独り暮らしの高齢者など86世帯へおせち料理が届けられました。

村民の声で昨年度から始まった、年末の見守りを兼ねた取り組みです。『ささえ愛』有志の会として集まったボランティアを中心に、民生児童委員協議会と赤十字奉仕団にご協力いただきました。山形小学校3年生からのメッセージカードを添え、良い年になりますようにと願いを込めました。

もくじ

- 令和5年度山形村福祉のつどい／岩手県山田町の今…………… 1・2
- ボラセントピックス／まちがい探し…………… 3
- ボランティアグループの紹介…………… 4
- 山形村社協の事業所紹介…………… 5・6
- 共同募金実施結果／義援金受付／職員募集／まちがい探し答え…………… 7



令和5年度 山形村 福祉のつどい

～いつもありがとう～



12月9日（土）山形村社会福祉協議会にて、山形村福祉のつどいを開催しました。コロナ明け久しぶりの開催でしたが、会場内は120名を超える大賑わいとなりました。

今回は『いつもありがとう』と題して、住民の皆さまや関係機関の皆さまとのつながりに感謝し、様々なお楽しみブースを企画しました。

会場のいたる所で、「久しぶり～」「最近どうしてたの？」とお顔を合わせ合う様子が見られ、会場は常に楽しい声であふれていました。多くの方が社協に関心を寄せ、ご来場いただいたことに、改めて感謝し、また来年も地域に寄り添う社協として、皆さまと一緒に歩いていけるようにと職員一同思いを新たにしました。

壁画制作

デイサービスセンター
いちいの里にて展示中！



令和6年の干支の「辰」と富士山の壁画を皆さんと一緒に制作しました。

社協バザー



売上金の19,649円は地域福祉活動に活用されます。

赤十字奉仕団バザー



売上金の19,730円と、募金箱への17,490円は独り暮らしの高齢者に配布されたおせちの材料費として寄付いただきました。

レクリエーション体験



スカットボールと歌体操を皆さんに体験していただきました。

表彰式

長年にわたり地域の児童・青少年の健全育成等に貢献されました。



社会福祉活動功労者
中大池
塩原 尚子様



すばる利用者さんの作品

作業所販売

障害者就労支援事業所のおすすめ商品を販売しました。



松本ひよこ



森のこびと



すばる

物産展

岩手県山田町から特産品を取り寄せて販売しました。売上金の29,610円は山田町社会福祉協議会へお送りしました。



岩手県山田町の今

山形村社会福祉協議会では、当時、災害支援活動としてボランティアバスパックで数回岩手県山田町を訪れました。それから継続的に義援金などの支援活動を行なっています。10年以上経った今の様子をお伺いしました。

山形村の皆様には、平成23年の東日本大震災発災直後からボランティア活動をはじめ、たくさんのご支援を頂きました。また、毎年山田町のために過大な義援金を頂戴し心から感謝申し上げます。

皆様からご支援いただきました義援金は、被災した車両や車いすの購入費、子供向けの本を購入し図書館に寄贈するなど有効に活用させていただいております。

現在は、災害公営住宅や高台移転により以前の街並みを取り戻し、令和5年7月には新道の駅「おいすた」がオープンするなど来町者も増えにぎわいを取り戻しつつあります。最後に遠路ではございますが、機会がございましたらぜひ、当町へ足をお運びいただけたらと思います。

山田町社会福祉協議会 総務課 係長 大手文枝



現在の山田町役場の屋上からの景色



現在の織笠高台団地

ボラセン
トピックス

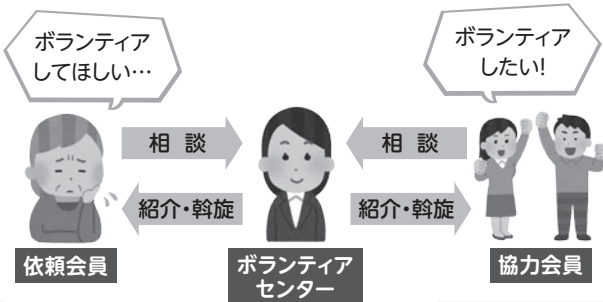
山形村ボランティアセンターの活動紹介

有償在宅福祉サービス「たのみま処」 協力会員のつどい

協力会員のつどいを11月10日(金)保健福祉センターいちいの里研修室にて行いました。担当者による前期分の活動実績と現状等の報告、協力会員の皆さんの日頃の活動への思いを意見交換しました。

「たのみま処」とは、「ちょっとしたお手伝いがあれば安心して山形村で生活できる方(依頼会員)」と、「地域のために空いた時間にちょっとしたお手伝いをしてくださる方(協力会員)」による、地域の支えあい・助け合いをサポートする事業です。

随時協力会員を募集しています!



認知症サポーターになろう!

認知症キャラバンメイトである社会福祉協議会職員が講師となり、認知症サポーター養成講座を行いました。「認知症とは?」「認知症の方と接するときの心構え」「認知症サポーターのできること」等、約1時間半の講義となりました。

参加者は認知症サポーターの証である『オレンジリング』を手にして「地域でも見守る目を増やしたい」「お客さんにも認知症の人がいるかもしれないので、職場内でもオレンジリングの存在を広めたい」などと話し、参加者同士の情報交換もできるいい機会となりました。

ぜひご近所や職場の仲間と一緒に、オレンジリングの輪を広げませんか?



ボランティアセンターの職員もオレンジリングを着けています

食品・日用品配布会を実施しました

子育て世帯や生活にお困りの方を対象に、食品・日用品を無料で配布しました。2日間で32世帯のご利用があり、「物価高騰で大変なので助かりました」「次はいつやりますか?」と多くのお声をいただきました。

配布品は、住民の皆さまや企業からの寄付で成り立っており、集まり次第、随時配布会を実施していく予定です。山形村ボランティアセンターでは、年間を通して、食品を募集しておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。



募集
食品

お米(古米までの玄米・もみ)
レトルト食品、缶詰等(賞味期限内のもの)
※野菜・果物の受付は登録制となっております。

活動に関するお問い合わせ 山形村ボランティアセンター 0263-97-2102

職員オリジナル!

まちがい探し

右と左の絵を見比べて
まちがいを5つ探してね♡
答えは7ページ!



ボランティアグループの紹介

シニア大山形会

代表：上條民雄

- 活動期間：24年
- 主な活動内容：会員相互の健康と生き甲斐活動事業
ボランティア活動として、社協の行う事業に応援参加する
- 会員数：23名



私達の会は、長野県シニア大学を修業した山形村在住の人達を以て構成し、年2～3回の相互交流を目的とした親睦スポーツ大会、研修会等の事業を実施しています。加えてボランティア活動に自主参加ですが、山形村社協が行う「障害者生活・就労支援 / 地域交流センターすばる」の事業に参加協力をしています。

会のモットーは、会則にも謳われている「会員相互の健康と生き甲斐活動を通して、地域社会に参加協力すること」としています。活動を通して相互に研鑽すべく集まった仲間で、事業計画を自主的に発案計画しています。

人生100年時代を迎え、人それぞれに環境の相違はあっても、仕事や家庭の重荷を下ろし、社会の第一線を退いた後半の人生を、生き甲斐をもって悔いなく有意義に過ごしたいというのが、シニア世代の誰もが抱く願いです。この1ページを補うのが会の目的でもあります。

また、長野県シニア大学では「人生二毛作」をテーマに、教養講座、趣味・健康・交流講座、地域づくり講座の3講座をカリキュラムに、2年間(60時間)勉強します。関心のある方、ぜひ受講してみてください。人生の新たな出会いと発見があること請け合いです。そしてシニア大山形会にも加入してください。加入資格は当面100歳までとしています。



▲スカイランドきよみず研修会



▲「すばる」利用者さんと交流スポーツ大会



▲村の花壇に花がら摘み応援

お問い合わせ 山形村ボランティアセンター 0263-97-2102

山形村社協の
事業所紹介
Part3

ホームヘルプステーション いちいの里

訪問介護サービスとは、訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭を訪問し、要介護状態にある方が、自立した日常生活を送ることができるように、支援するサービスです。必要に応じケアマネージャー、相談支援専門員、主治医、看護師などとも連携を取りながら、ご自宅での生活を続けていただけるように、支援をさせていただきます。

ホームヘルプステーションいちいの里では、「こんにちは!!」と元気にご自宅へ訪問しています。皆さまの在宅生活を少しでも支えたいのがヘルパーです。ご本人の生活に合った支援を行っています。

高齢者

*ケアマネージャーの作成するケアプランに基づくサービス

介護保険サービス内容

生活援助

- ・調理
- ・掃除
- ・洗濯
- ・買い物代行等

身体介護

- ・入浴介助
- ・排泄介助
- ・食事介助
- ・服薬確認
- ・薬の塗布等



その方の気持ち・
思いを否定せず、
大切にしています。

障害者

*相談支援専門員の作成する支援計画書に基づくサービス

声の掛け方や支援など、
利用者さんひとりひとりに
合わせています。



障害者サービス内容

居宅介護

- ・調理
- ・掃除
- ・買い物代行
- ・服薬確認
- ・排泄介助
- ・食事介助等

行動援護

- ・行動の危険回避
- ・外出の前後の着替えや移動中の介護等

移動支援

- ・余暇活動、社会参加のための移動の支援等

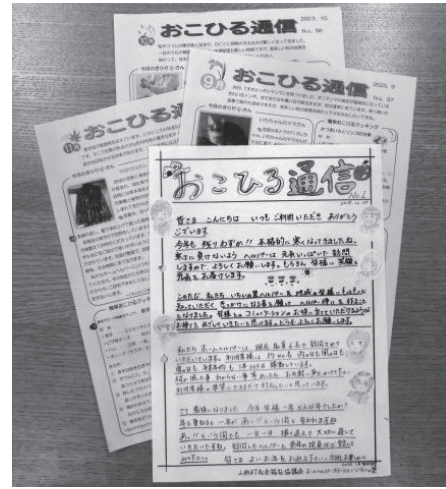
誕生日カード

職員の手作りカードをプレゼントしています。



おこひる通信

毎月利用者さんに配布しているお便りです。



おこひるタイム

支援中に少しの時間ができれば、体操や歌を歌ったり、昔の話を聞かせていただいています。これをおこひるタイムとし、ほんのわずかな時間でもコミュニケーションを大切にしています。



こんな支援もしています!

機能訓練支援で、ウォーキング、体操、作品作り等を行っています。その中で、ご本人のご希望により奥様への誕生日カードを一緒に作りました。感謝の気持ちをこめて、毎年メッセージを贈ります。お互い支えあって、いつも明るく笑い声の絶えない素敵なお夫婦です。日頃口数の少ないTさんですが、『いつもありがとう』のメッセージには深い愛を感じます。



※「おこひる」とは、農作業の間に軽食を食べるちょっとした時間のことです。

営業日 月曜日から土曜日
(祝祭日、年末年始休業期間を除く)

営業時間 午前7時00分～午後8時00分

※営業日・営業時間は、事業により異なります

笑顔で明るい気持ちで利用者さんと関わるよう心掛けています。利用者さんの元気が日々のパワーになっています。



あたたかな善意、ありがとうございました 赤い羽根・歳末助け合い共同募金実施結果

令和5年度赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を10月1日から12月31日にかけて実施いたしました。上記の募金額は全額長野県共同募金会へ送金いたします。

この募金はその一部が令和6年度において、配分金として山形村社会福祉協議会へ交付され、村内の福祉事業（指定地域福祉活動支援事業助成金等）に充てられます。



募金額 432,427円 (1月10日現在)

山形小学校

12月13日贈呈式

ボランティア委員会の皆さんがポスターの作成、職員室へ出向いての声掛け、お昼の放送での案内をしてくださいました。生徒昇降口での呼びかけによる募金活動は、感染症による学年閉鎖があり、3日間ずつ2回に分けて実施されました。

委員会の山口花梨さん、根橋久真さん、吉岡雅敬さんは「低学年の児童が多く協力してくれて嬉しかった」「全校でできたことが嬉しかった」「沢山集まってよかった」と話してくださいました。



鉢盛中学校

12月20日贈呈式

福祉交流委員会の皆さんが事前のお昼の放送と、11月の3日間生徒昇降口に立ち募金を呼びかけてくださいました。募金をしてくれた生徒や先生には、委員の皆さんが作ったオリジナルの赤い羽根が入ったしおりが配られました。

委員会の佐々木陽菜さん、齊藤修平さんは「思ったよりたくさんの協力があつた」「助けよう、協力しようという思いが見えて嬉しかった」と話してくださいました。



令和6年能登半島地震災害義援金の受付について

この度の災害に伴い、日本赤十字社と中央共同募金会による災害義援金の受付を、山形村社会福祉協議会窓口にて行なっています。ご協力をお願いいたします。※物資の受付は行なっておりません。

職員募集のお知らせ

山形村社会福祉協議会では、一緒に働いてくださる職員を募集しております。

福祉に興味のある方、人と関わる仕事がしたい方、子育てがひと段落して空いた時間を有効活用したい方、お気軽にお問い合わせください。

3ページの『まちがい探し』の答え



みんな見つけられたかな？
次もお楽しみに♪

雲の数／杵の長さ／
臼に書いてある文字／
鏡餅の上の果物／龍の子のしっぽ

まほろば (社協広報/第101号) 令和6年1月26日発行

発行所

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1
TEL ● 0263(97)2102 FAX ● 0263(97)2108 URL ● <https://poponet-yamagata.or.jp/>



「まほろば」に載せきれなかった記事については、ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください▶

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。